



ネットで秋厚労ニュース
http://www.shukouro.net/

ID shukouro
パスワード 0188643341

メール syukoro-kyosen@w3.dion.ne.jp

秋厚労ニュース

NO1780号

2017年7月27日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5-4-2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349

茨城で住民集会

実行委員会発足

去る7月17日、茨城県土浦市・コープ土浦会議室において「地域医療を考える住民のつどい」の実行委員会が発足。11月19日の集会に向けて準備や宣伝を重ねていくことになりました。

地域医療を考える住民のつどい
in 土浦
病気になるたら、どうする

11月19日

13:00~15:30

土浦市民会館

講演
明治大学教授
山口不二夫先生

＜主催＞ 実行委員会



今、茨城県内では、「厚生連の異常事態」をきっかけに、医療に関する県民的な

論議が巻き起こっています。その中で、「住民集会」の開催が浮上。去る7月17日、住民集会の「実行委員会」が発足し、住民・医療関係者・団体代表など15人が参加しました。

具体的には、実行委員会主催で、11月19日（日）の午後、土浦市民会館を会場に「地域医療を考える住民のつどい in 土浦」を開催することが決定。なお、同月17日からは全厚労医療研究集会が同地で行われます。

今後、実行委員会を兼ね、準備や宣伝をするこ

「表れ方」の違いはありますが、日本中、どこでも「医療の危機」が国民生活を襲い、国民も医療労働者も困っています。秋厚労は、今日の事態について、「根っこは1980年以降の財界中心の医療政策」と整理し、茨城は「日本の医療危機の焦点」と位置づけています。

秋田や全国の「医療危機」を打開するためにも、「支援」ではなく、みんなで「茨城に集まる」ことが求められています。

とになりました。支援でなく集まること

茨城は日本の医療危機の焦点

一方、1980年以降の医療政策は、「病院の窓口負担の増大」や「医師不足」などの面でも、国民生活にかかれています。

深刻な医師不足の中

等々の削減がありました。茨城県厚生連の経営者がこれと同じ道を歩もうとしたとき、労働者は直感的に「危機」を感じ、事態を地域に発信しました。

甚大な被害を及ぼします。

埼玉や茨城は、日本で最下位を争うほど医師が不足しています。去る7月2日に行われた茨城県母親大会でも、「患者のたらいまわし」や「救急搬送が1時間以上かかった」などの実例が生々しく語られました。住民は、今の医療政策によって「いのち」をおびやかされています。



実行委員会 (2017. 7. 17) より